

たのしい

2018.09.06

サイエンス通信 (14)

ドイツの数学博物館に行ってきた

この夏休み、旅行でたまたま飛行機がフランクフルト空港経由だったので、以前から気になっていた数学博物館 (Mathematikum) に行ってきました。フランクフルトから鉄道で1時間ほどのギーゼンという街にあります。

中に入ると (入場料9€) 数学の定理や物理の現象を体感できるいろいろな展示物があり、小さな子どもたち (そしてその保護者も) が興味を持って遊んでいました。また大人だけのグループもいました。そして一人でここに入っている私。もちろん大人も十分に楽しめます。解説も多くはドイツ語と英語が併記されています。一部写真を載せますが、他にもいっぱいあって私も楽しめました。



数学博物館の外観



左：円錐の中に色水が入っており、それを傾けると水面が2次曲線となる。

例えば母線が水平になるようにすると水面は放物線になる

中：斜めになった棒を回転させるとどんな図形になるだろうか

右：立方体の針金を石鹼水につけてみる。上げたときに幕の面積が最小になるのだがどのようなになっているだろうか



ピタゴラスの定理 $a^2 + b^2 = c^2$ を板を動かして確かめる



左：ナチスが使っていた暗号機

『エニグマ』

右：2進数時計。

左から 1100(2)→12

11110(2)→30 110100(2)→52

12時30分52秒

こういうの大好き (逸)